

青森県チビッコ野球選手権 大会優勝



優勝を報告した選手の皆さん

8月5・6日に市営球場で開催された第31回青森県チビッコ野球選手権大会で優勝した五所川原クラブの選手の皆さんが8月15日、市長を訪問しました。

大会は、各地区代表の8チームが出場し、五所川原クラブは、決勝戦で小沢ブルーサンダース（弘前支部）を接戦の末破り初優勝しました。

監督の神さんは「市内の小学校から20名を選抜し、全体練習は3回しかできなかったが、優勝できて本当によかった」と語りました。また、主将を務めた竹谷陽向さん（中央小6年）は「守備のピンチの時でも冷静にボールをさばけた。また、キャプテンとして、チームを引っ張ることができた」と話しました。



第12回U-15全国KWB野球 秋季大会出場



活躍を誓う選手の皆さん

10月7日からナスパ・スタジアム（千葉県）で行われる第12回U-15全国KWB野球秋季大会へ出場する選手の皆さんが8月28日、市長を訪問しました。

7月の県予選で優勝し全国大会出場を決めた北五選抜チームの蒔田柳影主将（金木中3年）は「全国大会では主将としてチームを引っ張り、県代表として頂点を目指し、中学校で最後の大会なので頑張りたいです」と大会への意気込みを話しました。

この大会で使用されるボールは軟式球ではなく、Kボールと呼ばれる、大きさ・重さが硬式球と同じで、軟式球に比べ飛びにくいボールが使用されます。大高監督は「軟式野球とは異なる技術が要求されるが、選手たちは練習でKボールに対する扱い方を身に付けているので、全国大会でも良い成績を残したい」と期待を込めて話しました。

東京大学フィールドスタディ型 政策協働プログラムで地域づくり



東京大学の遠藤さん(左)、名倉さん(右)

8月21日、東京大学が展開している「フィールドスタディ型政策協働プログラム」の実施に伴い、名倉慎吾さん（東京大学4年）と遠藤友里亜さん（東京大学4年）が市長を訪問しました。この事業は、学生たちが地域の課題解決に取り組み、調査・討議等した上で自治体や地域住民に課題解決の提案をする事業です。

名倉さんと遠藤さんは、当市の「サイクルツーリズムによる観光振興」をテーマとして9月3日まで滞在し、地元住民の声を聞いたり、実際に自転車で観光名所を巡り、情報収集や聞き取りを行いました。課題解決の提案は、来年の2月頃を予定しています。

日露ジュニア柔道 交流大会出場



活躍を誓う原さん

9月6日からロシア・ウラジオストクで行われた嘉納治五郎記念ウラジオストク日露ジュニア柔道交流大会へ出場した原大滋さん（木造高校3年）が8月22日、市長を訪問しました。

原さんは昨年、第48回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会東北予選会55kg級で優勝し、平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会へ出場した経験があったため、今回、国際大会の日本代表選手として選出されました。

原さんは「得意技は寝技で、技をかける時のスピードが自慢です。せっかくのチャンスなので練習の成果を出し切り、上位入賞できるように頑張ります」と大会への意気込みを話しました。